

「若手研究者支援」国際学会発表	
Development process of Aromantic/Asexual Identity in Japan	
氏名 此下 千晶	所属 人間発達科学専攻 博士後期課程 1年
期間	2023年 11月 2日～ 2023年 11月 5日
学会・分科会名	26th Congress of the World Association for Sexual Health
場所	Mirage Park Resort, Antalya - Turkey
発表者名、発表形式	Chiaki Konoshita, 口頭発表

内容報告

1. 本発表の意義

近年、同性愛の権利に対する社会的関心が高まっており、「誰もが愛する人を愛する権利がある」ことを尊重しようとする国際的動向がある。これは大変重要なことであるが、他者に恋愛感情を抱かないアロマンティックの人々、他者に性的に惹かれないアセクシュアルの人々はこの文脈において不可視化されやすい。

本研究は、日本においてアロマンティックまたはアセクシュアルを自認している人々のアイデンティティ形成プロセスを明らかにすることを目的として、14名の日本人を対象に約60～90分の半構造化面接を実施し、修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ (M-GTA) を用いてトランスクリプトデータを分析した。結果として、恋愛至上主義、強制的性愛、ロマンティック・ラブ・イデオロギー等の恋愛／性規範が参加者自身の中に内在化している、あるいは周囲の人々・社会に浸透していることが、プロセスを通して参加者の葛藤の要因となっていることが示唆された。

日本におけるアロマンティック／アセクシュアル研究は極めて乏しいのが現状である。世界中の研究者と意見を交わし、国際的な知見を取り入れ、日本での研究を発展させることを目的として、性科学会の世界大会である World Association for Sexual Health にて口頭発表を行った。

2. 得られた成果

本発表を通して、多くの研究者と豊かなコミュニケーションをとり、貴重な意見をいただくことができた。例えば、日本以外の国における恋愛／性規範の実態について聞くことができた。また、パンセクシュアルのアイデンティティ形成プロセスについて発表していた研究者と話したことで、アロマンティック／アセクシュアルとの共通点と相違点を考察することができた。さらに、帰国後も連絡を取り合った研究者とは今後のコラボレーションの話も生まれた。国際学会への参加は、世界中の研究者と繋がることのできる大変貴重な機会であることを実感した。

3. 今後の展望

本発表は博士論文の1つの章とし、さらに英文誌に投稿予定である。本研究では個別性の高い質的データを探索的に分析したことで、恋愛・性愛に関する規範意識が参加者の生きづらさに影響を与えていることが示唆されたが、質的研究には研究者の主観が入るという限界がある。今後の研究ではこれらの知見を基に仮説を生成した上で、大規模サンプリングによって量的データを収集し、当事者のメンタルヘルスと規範意識の関係を統計解析によって検討する予定である。

このした ちあき／お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科 人間発達科学専攻

- ・英文タイトル Development process of Aromantic/Asexual Identity in Japan
- ・英文氏名 Chiaki Konoshita
- ・英文発表者名 Chiaki Konoshita, Keiichiro Ishimaru